

パステル画

「“パステル”って聞いたことはあるけど、よく分からない」そんなあなたでも大丈夫!パステルは、初心者の方でも描きやすい画材のひとつです。

パステル画とは?

パステルとは、粉末の顔料を最小限の水性糊材で固めたものです。クレヨンから油分を引いたような粉っぽい質感の画材で、パレットの上では混色できないため、数百色もあります。特徴として、他の画材よりも発色が美しく、やわらかな質感が表現できます。また、水彩画のように乾くことを待つ必要もなく、描きたいものを素早く描け、あまり時間をかけずに絵を完成させることができます。細かい部分の描きこみが難しかったり、定着力が弱いので触ってしまうと色が取れてしまい、作品が壊れてしまうといった一面もあります。

画材

パステル画に必要な画材を紹介。これだけ揃えれば、あなたもパステル画をすぐに始められます。



パステル

最初は必要な色だけ揃え、10色もあれば十分でしょう。軟らかく壊れやすいので持ち運びに注意。



パステル紙

紙に凹凸があり、適度な厚さと強さもあり、波打ちの少ない紙を選びましょう。

練り消しゴム

パステル画の場合は練り消しゴムがオススメ。消しカスがでないので作品を汚す心配がありません。

濡れたタオル

練り消しゴム以外に、濡れたタオルで拭いても色を消すことができます。



グラシン紙

パステルの定着、持ち運びの際にも使用します。



マスキングテープ

簡単に剥がせるのでパステル紙を台に貼り付けたり、描く工程でも利用します。

参考 パステル鉛筆

鉛筆の芯にパステルを用いた画材です。パステルよりも細部の描きこみが可能です。

Cindy 先生の実践

「パステル画はとっても簡単なのよ!」と初心者にはパステル画をオススメするCindy先生。ここでは、実際にCindy先生によるパステル画の簡単な描き方を紹介します。

題材

今回の題材は海。「海には水平線があり、真っ直ぐなので絵を描く時の目安になります。初心者には、海の風景から描き始めることをオススメしています」とCindy先生。



マスキングテープで、パステル紙を台に貼り付けます。今回は色付きの紙を使用しました。



まず、水平線を作ります。そのためにマスキングテープを、紙を横に3分割した上1/3のところに貼ります。ここに水平線を置くことで、絵にバランスが生まれます。

次ページ
左上へ